
[成果情報名] トルコギキョウ産地で発生した立枯病の原因菌の同定と分布、品種別発病度
[要約] 県内産地の立枯症状を示したトルコギキョウほ場には、立枯病菌として報告のある *Fusarium solani* および *F. oxysporum* が分布している。*F. solani* は「海ほのか」他11品種、*F. oxysporum* は「グラナスライトピンク」他5品種において発病度が高い。

[キーワード] トルコギキョウ、*Fusarium*、立枯病、発病度

[担当部署] 苗木・花き部；花きチーム

[連絡先] 0943-72-2243

[対象作物] 花き

[専門項目] 病害虫

[成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

トルコギキョウの生産現場では、*F. solani* および *F. oxysporum* によって引き起こされる立枯病が発生して問題となっているが、その菌種および分布の実態は明らかになっていない。そこで、立枯病による被害を軽減するため、県内の生産ほ場から立枯病原因菌の分離を行い、その菌種を同定するとともに、地域分布を明らかにする。さらに、複数のトルコギキョウ品種を用いて、*Fusarium* 属菌福岡菌株に対する発病度を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 県内の主要トルコギキョウ産地 33 地点から、*F. solani* が 15 菌株、*F. oxysporum* が 36 菌株検出され、立枯病菌は県内 6 か所の主要産地に広く分布している（図 1）。
2. *F. solani* 福岡菌株に対して、5 月および 11 月のいずれの接種時期でも高い発病度（41～100）を示すトルコギキョウ品種は、「海ほのか」、「グラナスライトピンク」、「クレアピンク」、「コレゾブルー」、「コレゾライトピンク」、「セレブピンク（早生）」、「セレブリッチホワイト」、「渚 A」、「ハピネスホワイト」、「ボレロホワイト」、「ミンク」、「レイナ 2 型ホワイト」である（表 1）。
3. *F. oxysporum* 福岡菌株に対して、5 月および 11 月のいずれの接種時期でも高い発病度（41～100）を示すトルコギキョウ品種は、「グラナスライトピンク」、「セレブピンク（早生）」、「渚 A」、「ボレロホワイト」、「ミンク」、「レイナ 2 型ホワイト」である。（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. *F. solani* および *F. oxysporum* 福岡菌株に対する品種別の発病度を指標として、作付け品種の選定に活用できる。
2. 発病度が低い品種を作付けする場合でも、作付け前の土壌消毒を適切に行う。

[具体的データ]

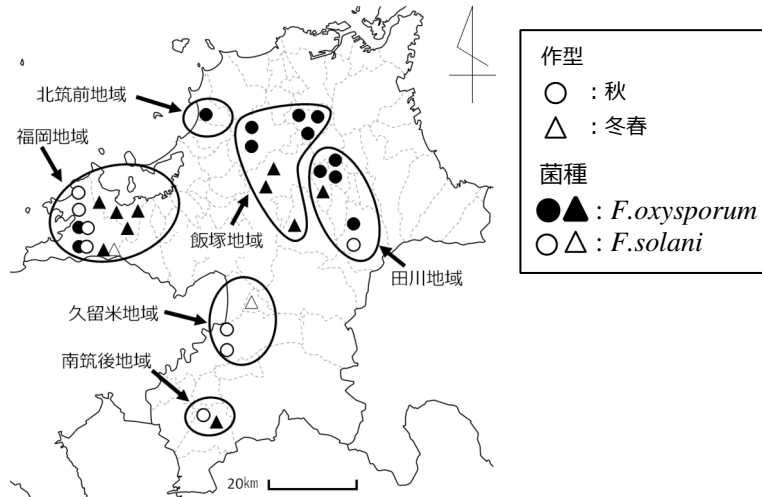


図1 トルコギキョウ生産ほ場における*Fusarium* 属菌の地域分布 (平成30年、令和元年)

表1 *F. solani* 福岡菌株におけるトルコギキョウ品種の発病度(令和元、2年)

品種	接種時期		
	令和元年		令和2年
	11月	5月	11月
海ほのか	△	××	×
グラナスライトピンク	×	××	×
クレアピンク	×	××	△
クレアブルー	△	××	○
コレゾブルー	××	××	△
コレゾライトピンク	××	××	××
シエルラベンダー	○	××	◎
セシルブルー	○	×	○
セレブピンク(早生)	×	××	×
セレブピンク(中生)	×	◎	××
セレブリッチホワイト	××	×	△
渚A	△	××	×
パビオンピンクフラッシュ	—	×	○
ハビネスホワイト	△	××	×
ボレロホワイト	××	××	×
マーブルピンク	—	△	○
ミンク	×	×	△
レイナ2型ホワイト	×	×	×

注) 1. 水耕栽培装置で栽培した株に接種
 2. 発病指数は0~4の5段階で評価
 3. 発病度は{Σ(程度別発病株数×指数)/(調査株数×4)}×100で算出
 4. 発病度が、0: ◎、1-20: ○、21-40: △、41-70: ×、71-100: ××で評価
 5. ■: 41~100の発病度を示した品種

表2 *F. oxysporum* 福岡菌株におけるトルコギキョウ品種の発病度(令和元、2年)

品種	接種時期	
	令和元年	令和2年
	11月	5月
海ほのか	×	○
エグゼラベンダー	×	○
エンドレスラブ	△	◎
グラナスライトピンク	××	△
クレアピンク	△	○
クレアブルー	△	◎
コレゾブルー	××	◎
コレゾライトピンク	××	○
シエルラベンダー	○	◎
セシルブルー	×	◎
セレブピンク(早生)	×	×
セレブピンク(中生)	×	○
セレブリッチホワイト	○	○
渚A	××	×
パビオンピンクフラッシュ	×	○
ハビネスホワイト	××	○
ファーストラブ	△	◎
ボレロホワイト	××	×
マーブルピンク	×	○
ミンク	×	×
レイナ2型ホワイト	×	△

注) 1. セルトレイで栽培した株に接種
 2. 評価手法は表1に同じ
 3. ■: 41~100の発病度を示した品種

[その他]

研究課題名: トルコギキョウ産地で発生した立枯れ症の原因菌の分離と同定および現存抵抗性系統の病害抵抗性評価

研究予算: 国庫受託 (イノベーション創出強化研究推進事業)

研究期間: 令和2年度 (平成30年~令和2年)

研究担当者: 安永智希、瀬戸山修仁、近藤孝治

発表論文等: 九州病害虫研究会報66巻、園芸学研究第20巻(別)1